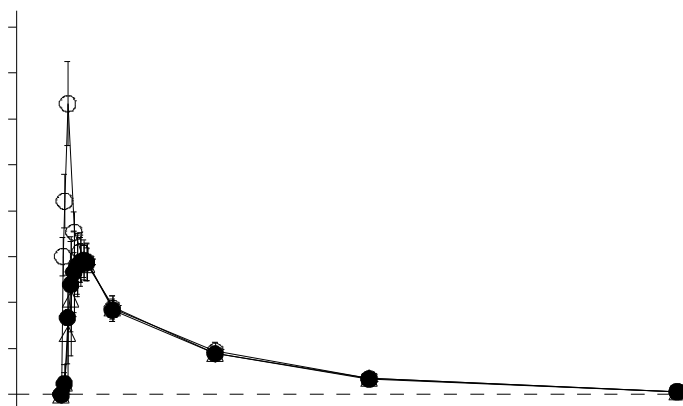


経口投与時の主要評価項目の薬物動態パラメータの算術平均値（標準偏差）は、Cmaxは空腹時 64.9（12.1）ng/mL 及び食後 65.2（9.62）ng/mL、AUClastは空腹時 1200（174）ng·h/mL 及び食後 1220（170）ng·h/mL であった。副次評価項目である AUCinfの算術平均値（標準偏差）は、空腹時 1230（187）ng·h/mL 及び食後 1260（186）ng·h/mL、CL/Fは空腹時 4.13（0.549）L/h 及び食後 4.05（0.509）L/h、Vz/Fは空腹時 110（17.5）L 及び食後 109（14.8）L であり、いずれも空腹時及び食後で同程度であった。

静脈内投与時の薬物動態パラメータの算術平均値（標準偏差）は、Cmaxは 127（18.3）ng/mL、AUClastは 1360（227）ng·h/mL、AUCinfは 1390（245）ng·h/mL であった。Tmaxはすべての被験者で、1時間の持続注入終了直前の採血時点である 0.98 h であった。CLは 3.69（0.554）L/h、Vzは 92.7（11.8）L、Vssは 80.2（9.50）L であった。

図 Error! No text of specified style in document.-1 平均血漿中 CS-3150 濃度推移（Linear scale）



●—●—●

○—○—○

△—△—△

Treatment A: 空腹時経口投与、Treatment B: 空腹時静脈内投与、Treatment C: 食後経口投与

\*: Treatment B N = 22

Source: Figure 15.2-1